

ギリシャ経済概況(2021 年 4 月号)

1 経済動向

- ・1 日 クレタとペロポネソス間の海底送電網の接続が成功裏に完成したと、ギリシャの独立送電オペレーター(ADMIE)と、ケーブルをデザイン・供給・設置したイタリアのプリスミアン・グループによって発表された。
- ・2 日 ギリシャ復興計画「グリース 2.0」が国会に提出された。同復興計画と共に提出された復興計画導入による長期経済予測によると、GDP は年間 1.15~1.25%ずつ増加し、2026 年迄に最大 7%程度まで拡大する見込み。
- ・5 日 ストゥールナス銀行総裁は 2020 年の年次報告書を発表し、新型コロナウイルス後にギリシャ経済は非常に多くの持続可能でない企業の倒産に直面する恐れがあると警告し、そのような企業の労働者のセーフティーネットが必要であると述べた
- ・6 日、電力公社 PPC は、子会社である配電公社(DEDIE)の 49%株式売却入札の第 2 フェーズに進出する企業を 9 社選出した。(参加表明があったのは 11 社)情報筋によると、中国の China South Power Grid - China Three Gorges のコンソーシアムと Guangzhou Power も参加を表明したが、「法的障壁」のため除外された。
- ・8 日 スタイクラス財務大臣は国の未来を再編するために、過去の教訓と経験を基にギリシャが採用しなければならない 5 つの優先事項(ダイナニズムと国のある種の自身を養うと同時に、新たな生産モデルを打ち立て、バランスのとれた財政政策を実施し、更に制度の質を深め、統一の環境を形作ること)を説明した。
- ・8 日 ギリシャ航空宇宙産業 EAV は、ロッキード・マーティン社の C-130J と F16s の部品(製造)を含む計画を促進するために更に 400 名を雇用すると述べた。
- ・9 日 欧州委員会はギリシャの不良債権処理プログラム「ヘラクレス」の延長を承認した。同プログラムは 18 ヶ月間延長され、2022 年 10 月まで施行される予定。
- ・12 日 欧州投資銀行は、「グリース 2.0」として知られるナショナル・リカバリー・リジリエンス・プランのギリシャ実施分として、50 億ユーロまで手当するのを援助することで正式に合意した。
- ・13 日 スタイクラス財務大臣は、ギリシャ統計庁による暫定値である 8.2%の昨年のマイナス成長の半分を補う GDP 成長率があると指摘しながら、ギリシャ中央銀行による今年の 4.2%の経済成長見込みに同意した。
- ・13 日 ピレウス港湾機構(OLP)は、近隣市の貧困家庭の子どもにイースターのプレゼント3000個を寄贈した。ピレウス市、ペラマ市、サラミナ市の代表に引き渡した。OLP は企業の社会的責任プログラムの枠組みとして、地域の社会的弱者層に向けた活動を行っており、クリスマスにもプレゼントを寄贈している。
- ・14 日 OECD はギリシャでの投資環境の改善のために更なる行政の効率性や司法システムの効率性向上を促すと共に、ギリシャへの次世代 EU 基金の流入が今年後半にも予定されているところ、同基金を最大限に利用しての良質の公共投資の計画通りの大量実施をギリシャに要望している。
- ・14 日 コザニ市付近のギリシャ電力公社による大規模太陽光発電計画の実施草案を、所掌の議会委員会が承認した。同契約によって 8370 万ユーロでミティリネオスグループの子会社が計画を実施予定で、2022 年 11 月に完成予定。
- ・19 日 アテネ総合指数は 2021 年で最も大きな下落率となり 2.54%下落した。JP モルガンによると、アテネ株式市場はここ 4 週間最も好調な市場のうちの一つだった。
- ・20 日 スタイクラス財務大臣はパンデミックの影響を考慮して、企業や個人の税負担を軽減するための所得税や不動産税の分割納付、一部減免、割引などの措置を

発表した。

・22 日 政府はロックダウン制限措置からの準備で、経済に新たな勢いを与える目的で、新たな減税措置を発表した。ミツオタキス首相とスタイクラス財務大臣が発表した政策予算は、今後の経済成長により埋め合わせられる予定

・23 日 格付け会社スタンダード&プアーズ社は、ギリシャ国債の信用格付けを BB- から BB に1段階格上げし、“ポジティブ”の見通しを維持した。

・28 日 欧州委員会は「復興・レジリエンス・ファシリティ：ドイツとギリシャは公式な復興・レジリエンス計画を提出」と題するプレスリリースを発出した。今後2ヶ月程度の EU での審査を経て承認される見込み。

2 財政

・6 日発表された IMF の財政監視報告書によると、ギリシャは 2022 年予算の段階でプライマリーバランスがプラスに戻る予定。IMF は、ギリシャのプライマリーバランスは去年は 7%の赤字、今年は 6%の赤字、2022 年は 0.3%の黒字、2026 年までに徐々に 1. 5%のプライマリーバランスの黒字に戻る予定

・22 日のユーロスタットの発表によると、2020 年の EU 加盟国の財政状況は深刻な状況となり、ギリシャとスペインの債務残高は対 GDP 比約 25%上昇した。EU 加盟国のうち最も債務残高が大きい国はギリシャで 205.6%。

・4 月に発表されたギリシャ統計局のデータによると、2020 年のギリシャ一般政府の財政収支は 161 億 3000 万ユーロの赤字、債務残高は 100 億ユーロ増加し 3410 億 2300 万ユーロ(対 GDP 比 205. 6%)となった。プライマリーバランスは 2019 年の黒字(76 億 300 万ユーロ)から一転、111 億 8500 万ユーロの赤字となった。

3 輸出入

4 月に発表されたギリシャ中央銀行のデータによると、2 月の経常収支は 8 億 4000 万ユーロの赤字で、昨年同月より 3 億 1400 万ユーロ改善した。項目別にみると、貿易収支は輸出高が 9. 5%増加し輸入高が 5. 1%減少、サービス収支は観光客の減少により収入は 89. 4%減となった。第一次所得収支は、主に利子や配当の支払いが減少し 2 倍以上の黒字となったが、第二次所得収支は政府の支払いが増加したことにより赤字となった。

4 観光

・14~16 日 セオハリス観光大臣はロシアを訪問し、運輸省、航空局、観光機関などのカウンターパートとロシアからの観光客の受け入れについて協議した。両者は、両国間の移動制限の一部解除や、ワクチン接種が完了している者を対象に 5 月 14 日の公式観光開始前からの早期受け入れを実施することで合意し、関連手続きを連携して進めて行くこととなった。

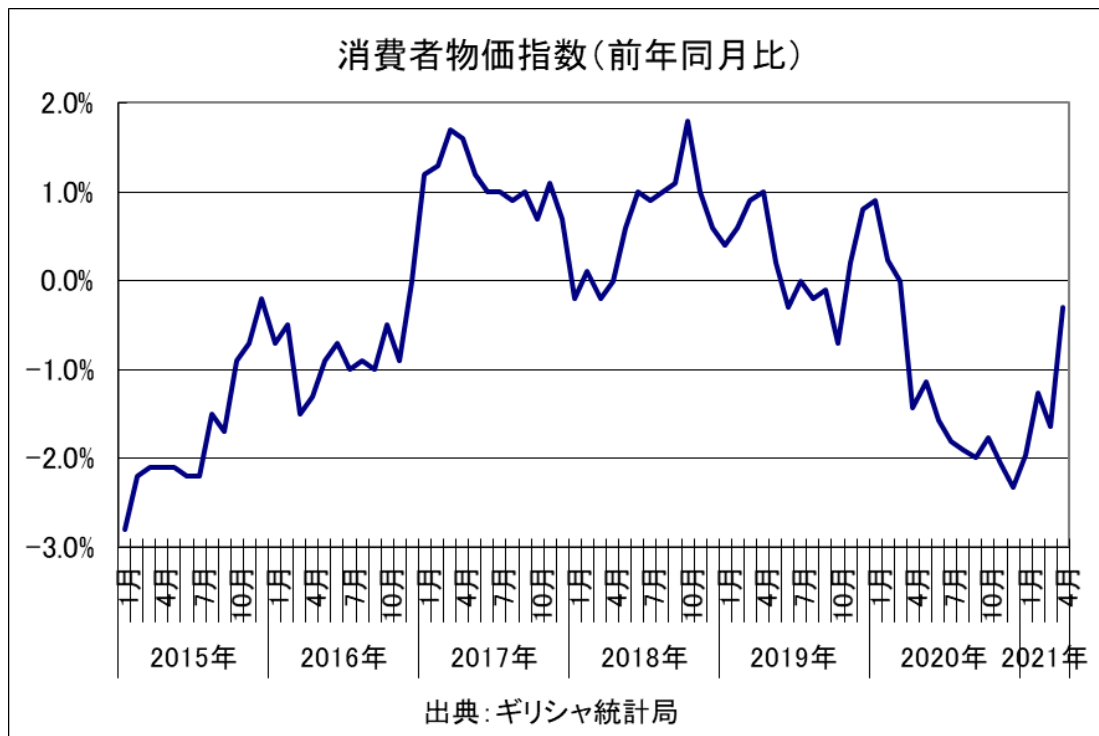
・26 日 EU は今年の夏に米国から EU27 ヶ国へ旅行に訪れる観光客を受け入れる計画を最終的に作成していると述べた。

・27 日に発表した 2020 年の観光収支によると、観光による歳入は 43 億 1900 万ユーロで 2019 年と比べ 76. 2%減となった。EU からの観光客による歳入は 28 億 5800 万ユーロで 2019 年比 70. 6%減、EU 域外からの観光客による歳入は 14 億 5200 万ユーロで 2019 年比 81. 7%減となった。

5 経済指標

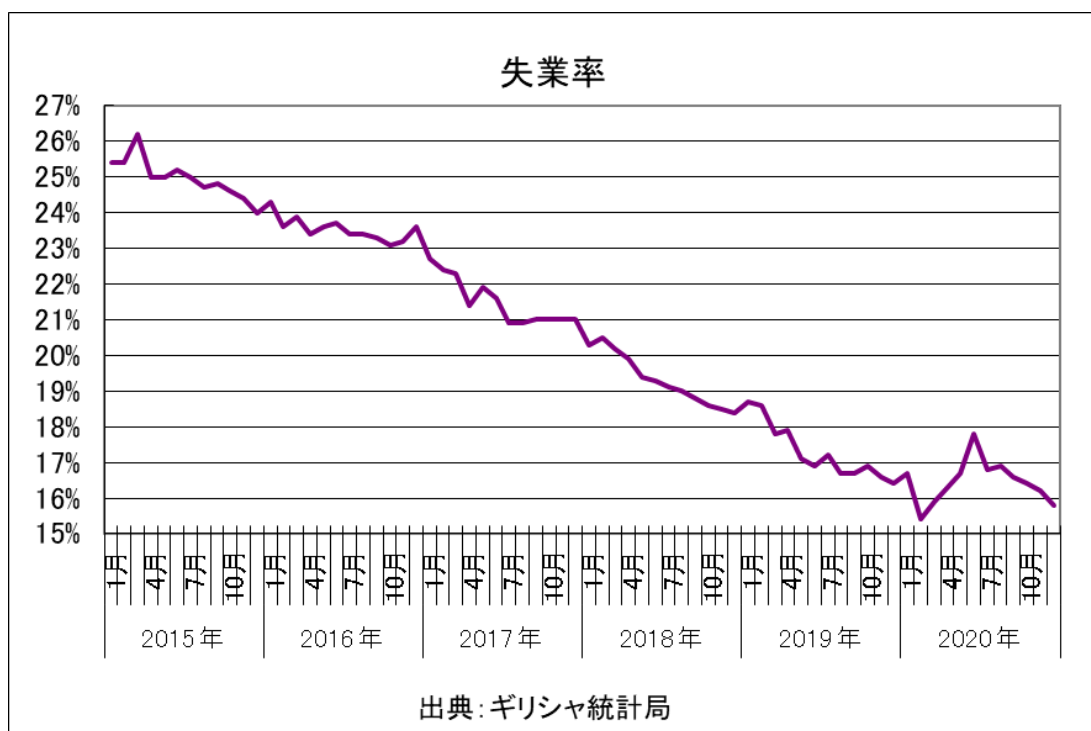
(1) 消費者物価指数

ギリシャ統計局の5月12日付の発表によると、4月の消費者物価指数は前年同月比0.3%減となった。



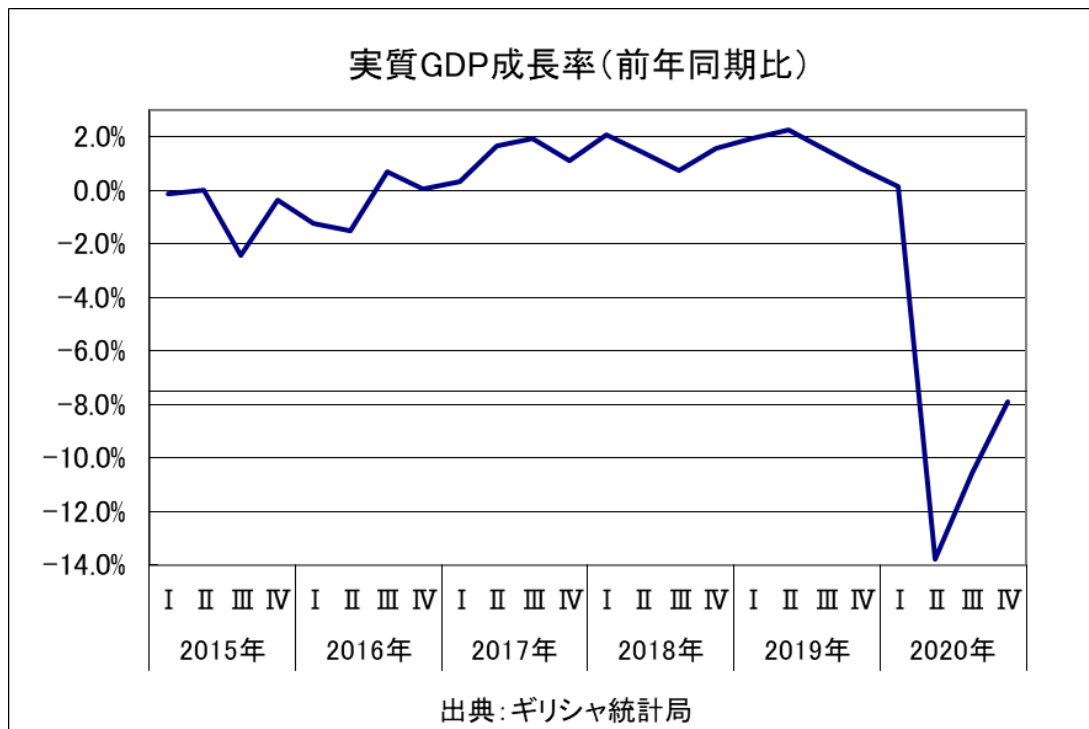
(2) 失業率

ギリシャ統計局の3月17日付の発表によると、12月の失業率は15.8%となり、前月から0.4%減少した。



(3) GDP

ギリシャ統計局の3月5日付の発表によると、2020年第4四半期(10～12月)の実質 GDP 成長率は前年同期比マイナス7.9%となった。



(了)